

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	ダイオキシン類土壤汚染対策費	事業開始年度	平成12年度	作成責任者		
担当部局庁	水・大気環境局	担当課室	土壤環境課	土壤環境課長 笠井 俊彦		
会計区分	一般会計	上位政策	大気・水・土壤環境等の保全			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	・ダイオキシン類対策特別措置法 ・公害防止に関する事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律第3条第1項	関係する計画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ダイオキシン類が人の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある物質であることから、ダイオキシン類による土壤環境の汚染の防止及びその除去等を効率的に行うための調査や運搬等の手法の確立等を実施するとともに、費用が高額である地方自治体のダイオキシン類土壤汚染対策事業について補助を行うことを目的としている。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 迅速かつ安価な土壤のダイオキシン類の測定法を公募し、技術評価を行った上で、公式の測定法として認定 危険な物質であるダイオキシン類によって汚染された土壤の運搬等についての実態を調査するとともに、より安全かつ低コストな運搬等の手法の検討 土壤中のダイオキシン類の水域経由での曝露リスク評価のための、地下水への移行に関する検討 「公害防止に関する事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」に基づき、ダイオキシン類による土壤汚染が判明した地域における対策事業の補助の実施(国:55%、都道府県等:45%) 					
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度初頭に、新たな土壤中のダイオキシン類の簡易測定法を追加。その使用状況を調査し、2割程度の調査費用の低減を確認した ダイオキシン類汚染土壤の運搬等の流れを調査するとともに、汚染土壤の安全かつ低コストな運搬等の手法にかかる検討を実施した 土壤中のダイオキシン類の地下水への移行に関する調査を実施し、水域経由での曝露リスクの可能性に関する検討を行った 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	146	78	47	42	
	執行額	43	43	37		
	執行率	29.5%	55.1%	78.7%		
	総事業費(執行ベース)	330	161	37		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> 環境省監督職員が適時具体的な指示を行うとともに、事業者と電話や電子メールで密に連絡を取るとともに、分析を実施する研究所の視察や適時担当者や打ち合わせ会議等を行うことで事業の進捗状況等を把握している。また、本事業において実施した検討会等には環境省職員も出席し、調査の実施方法が適切であるか、及び業務が適正に履行されているか確認をしている。 年度末には報告書等の関係書類の提出を受け、適正に履行されたことを確認している。 				
	見直しの余地	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き競争性のある契約を実施する。 平成17年及び平成19年に応募されていない簡易測定法について検討を行うなど、簡易測定法の改良を図る。 調査・検討に関する業務については、課題や目的を明確化・特定化し、効率的な検討を行えるようにする。 ダイオキシン類汚染土壤が著しく偏在し、対策費用が高額であり、地域によっては過重な財政負担が懸念されることから、今後とも地方自治体の状況に応じた適切な支援を行っていく。 				
予算・監視の・効率						
補記						

環境省
37百万円

ダイオキシン類が人の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがある物質であることから、ダイオキシン類による土壌環境の汚染の防止及びその除去等を効率的に行うための手法の確立や地方自治体における対策の補助等を行うことを目的としている。

【総合評価入札】

A いであ株
6百万円

簡易測定法の改良のための、
使用状況等に関する調査

【総合評価入札】

B (財)産業廃棄物処理事業振興財団
14百万円

ダイオキシン類によって汚染された土壌
の運搬等についての実態を調査すると
ともに、より安全かつ低コストな運搬等
の手法の検討

【総合評価入札】

C いであ株
17百万円

土壌中のダイオキシン類の
曝露リスク評価のための、
地下水への移行に関する
検討

※平成21年度については補助金の執行はない

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるよ
 うに記載)

A.いであ株			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	土壌中ダイオキシン類簡易測定 法改良調査費	6			
計		6	計		0
B.(財)産業廃棄物処理事業振興財団			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	ダイオキシン類汚染土壌運搬手 法等検討費	14			
計		14	計		0
C.いであ株			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	土壌中ダイオキシン類水域經由 曝露リスク検討費	17			
計		17	計		0
			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0